

東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス様

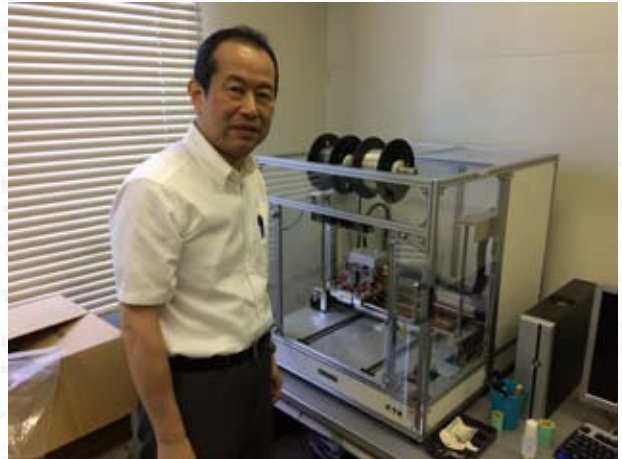
〒116-0003

東京都荒川区南千住 8-17-1

ものづくり工学科 航空宇宙工学コース

教授 山田 裕一 様

ご使用機種：MF-2000

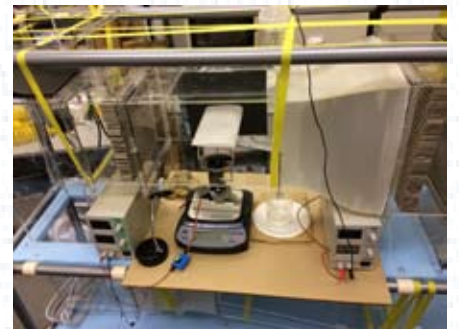


Q. MF-2000 をお選びいただいた理由を教えてください。

本校では学生たちの卒業研究、アクティブ・ラーニングの一環として3Dプリンタ導入をしています。以前は海外製品を使用していましたが、造形物を受け止める台座が不安定であるなどして使いづらさを感じていました。新たに3Dプリンタを導入する際に国産でその大きなサイズや価格が条件に合い、頑丈で安定感のあるMUTOHのMF-2000を知り、採用を決めました。

Q. どのように活用されていますか？

学生の研究室にMF-2000を設置し、学生たち自ら3Dプリンタを実際に操作し出力し研究に用いています。航空力学の実験の為に、飛行機の翼の模型や揚力を測定する風洞(※)と呼ばれる機器を作るなどして、学生たちがデータ作成から出力まで主体的に活用しています。その他には、中学生向けに本校や科学に興味を持って貰えるような3Dのトリックアートの出力も行っています。



※…風洞装置の翼と接続部を出力

Q. 使用されて良かった点がありますか？

造形できる領域が広く、大きな立体物も一度に出力できる点が魅力です。市販されていないような、形や大きさを接続する器具を作成できるので実験機械を作る際、機械の形状などの設計の自由度が高く、発想をすぐに具現化できます。また、消耗品の提供が早くて助かっています。

Q. 弊社へのご要望があればお願いします。

学校では一括で予算を付けることが難しく、機器をすぐに導入できないのが実情です。一度に一括という形ではなく、基本的な機能だけのセットから少しずつ買い足して拡張できるオプション設定や、教育機関向けの価格設定があれば教育機関としては導入のハードルがより下がるのではないのでしょうか。